Existence results for some micro-macro models of polymeric flows

Nader Masmoudi Courant Institute of Mathematical Sciences, New York University, NY 10012, U.S.A. E-mail: masmoudi@cims.nyu.edu http://www.math.nyu.edu/faculty/masmoudi/ Beijing 15-19 October 2007

October 15, 2007

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Outline

Introduction

The FENE model The Doi model Existence results

A priori estimates The free energy for FENE The free energy for the Doi model Higher order derivatives

Global existence of weak solutions for co-FENE

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Local existence for FENE

About the boundary condition

Global existence in 2D for co-Hooke

Introduction

Systems coupling fluids and polymers are of great interest in many branches of applied physics, chemistry and biology. There are many models to describe them :

- ► The FENE (Finite Extensible Nonlinear Elastic) dumbbell model. In this model, a polymer is idealized as an "elastic dumbbell" consisting of two "beads" joined by a spring. The microscopic variable is R ∈ B(0, R₀).
- The Hooke model is the case when $R_0 = \infty$.
- ► The Doi model (or Rigid model): The polymers have a fixed length and R ∈ S^{N-1}

At the level of the polymeric liquid, we get a system coupling the Navier-Stokes equation for the fluid velocity with a Fokker-Planck equation describing the evolution of the polymer density.

- Bird, Curtis, Amstrong and Hassager
- Doi and Edwards,
- Ottinger

The FENE model

$$\begin{cases} \partial_t u + (u \cdot \nabla)u - \nu \Delta u + \nabla p = \operatorname{div} \tau, & \operatorname{div} u = 0, \\\\ \partial_t \psi + u \cdot \nabla \psi = \operatorname{div}_R \Big[-\nabla u \cdot R \psi + \beta \nabla_R \psi + \nabla_R \mathcal{U} \psi \Big]. \\\\ \tau_{ij} = \int_B (R_i \otimes \partial_{R_j} \mathcal{U}) \psi(t, x, R) \ dR \\\\ (\nabla_R \mathcal{U} \psi + \beta \nabla_R \psi) \cdot n = 0 \text{ on } \partial B(0, R_0). \end{cases}$$

◆□▶ ◆□▶ ◆臣▶ ◆臣▶ 三臣 - のへぐ

We will take $\beta = 1$.

Here, $\psi(t, x, R)$ is the distribution function for the internal configuration and $F(R) = \nabla \mathcal{U}$ is the spring force which derives from a potential \mathcal{U} :

$$\mathcal{U}(R) = -k|R_0|^2 \log(1-|R|^2/|R_0|^2)$$

for some constant k > 0. We take $R_0 = 1$ and we denote

$$\psi_{\infty} = \frac{e^{-\mathcal{U}}}{\int_{B} e^{-\mathcal{U}}} = \frac{(1 - |R|^2)^k}{Z}$$

うして ふぼう ふほう ふほう しょうくの

The Fokker Planck equation can also be written

$$\partial_t \psi + u \cdot \nabla \psi = \operatorname{div}_R \left[-\nabla u \cdot R \psi + \psi_\infty \nabla \frac{\psi}{\psi_\infty} \right].$$

◆□ ▶ ◆□ ▶ ◆三 ▶ ◆三 ▶ ● ○ ○ ○ ○

- If R₀ = ∞, we take U(R) = kR² and we get the Hooke model which yields the Oldroyd B model.
- If we replace ∇u by $W(u) = \frac{\nabla u t \nabla u}{2}$ in the second equation, we get the co-rotational model.
- We have to add a boundary condition for *u*. We take
 Dirichlet boundary condition, namely *u* = 0 on ∂Ω where
 Ω is a bounded of ℝ^N

- ロ ト - 4 回 ト - 4 □ - 4

We can think of the distribution function ψ as the density of a random variable R which solves

$$dR + u.\nabla R dt = (\nabla u R - \nabla_R \mathcal{U}(R)) dt + \sqrt{2} dW_t$$

where the stochastic process W_t is the standard Brownian motion in \mathbb{R}^N and the additional stress tensor is given by the following expectation $\tau = \mathbb{E}(R_i \otimes \partial_{R_j} \mathcal{U})$. Of course, we may need to add a boundary condition when R reaches the boundary of B.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

The Doi model

$$\begin{cases} \partial_t u + (u \cdot \nabla)u - \nu \Delta u + \nabla p = \operatorname{div} \tau, & \operatorname{div} u = 0, \\ \partial_t \psi + u \cdot \nabla \psi = \operatorname{div}_R \Big[- P_{R^{\dagger}} (\nabla u \cdot R) \psi \Big] - \Delta_R \psi \\ \tau_{ij} = \int_{\mathbb{S}^{N-1}} N(R_i \otimes R_j) \psi(t, x, R) \, dR + \\ b \nabla_k u_l : \int_{\mathbb{S}^{N-1}} R_k R_l R_i R_j \psi \, dR, \end{cases}$$

 $P_{R|}$ is the orthogonal projection on the tangent space to the sphere at R, namely $P_{R|}(\nabla uR) = \nabla uR - (R.\nabla u.R)R$ and b is a parameter.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Existence results

For Oldroyd B model :

- Renardy
- Guillopé and Saut (1990)
- ► Fernández-Cara, Guillén and Ortega (1997)

- Chemin and Masmoudi 2001
- Lions and Masmoudi 2001
- ► Lin, Liu and Zhang 2005

For micro-macro models :

- Renardy
- ▶ W. E, Li and Zhang
- Jourdain, Lelievre and Le Bris
- Zhang and Zhang
- Barrett, Schwab and Suli
- Lin, Liu and Zhang
- Otto and Tzavaras
- Constantin, Fefferman, Titi and Zarnescu

For numeric results :

- Keunigs
- Ottinger
- Jourdain, Lelievre and Le Bris

◆□▶ ◆□▶ ◆臣▶ ◆臣▶ 三臣 - のへぐ

► P. Zhang

Main results

Three types of results

- Local well-posedness for the FENE model (and global well-posedness for small data).
- Global existence of weak solutions for the co-rotational FENE model and for the Doi model (with P.-L. Lions).
- Global existence of regular solution for the Doi model in 2D (with P. Constantin) and for the co-rotational FENE model (with P. Zhang and Z. Zhang).

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

A priori estimates

The free energy for FENE

$$\frac{\partial}{\partial t} \left[\int_{\Omega} \frac{|u|^2}{2} \right] = -\nu \int_{\Omega} |\nabla u|^2 - \int_{\Omega} \tau : \nabla u.$$
$$\frac{\partial}{\partial t} \left[\int_{\Omega \times B} \psi \log \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right] = -\int_{\Omega \times B} |\nabla_R \sqrt{\frac{\psi}{\psi_{\infty}}}|^2 \psi_{\infty} + \int_{\Omega} \tau : \nabla u.$$

Hence

 $\frac{\partial}{\partial t} \left[\int_{\Omega} \frac{|u|^2}{2} + \int_{\Omega \times B} \psi \log \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right] = - \int_{\Omega \times B} |\nabla_R \sqrt{\frac{\psi}{\psi_{\infty}}}|^2 - \nu \int_{\Omega} |\nabla u|^2$

▲□▶ ▲□▶ ▲目▶ ▲目▶ 三目 - のへで

For the co-rotational FENE model, we get

$$\frac{\partial}{\partial t} \left[\int_{\Omega \times B} \psi \log \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right] = - \int_{\Omega \times B} |\nabla_R \sqrt{\frac{\psi}{\psi_{\infty}}}|^2 \psi_{\infty}$$

More generally, for p > 0, we have

$$\partial_t \int_B \psi_\infty \left(\frac{\psi}{\psi_\infty}\right)^p dR + u. \nabla \int_B \psi_\infty \left(\frac{\psi}{\psi_\infty}\right)^p dR = -\frac{4(p-1)}{p} \int_B \psi_\infty \left| \nabla_R \left(\frac{\psi}{\psi_\infty}\right)^{p/2} \right|^2 dR.$$

◆□▶ ◆□▶ ◆三▶ ◆三▶ 三三 のへぐ

The free energy for the Doi model

$$\partial_t \left[\int_{\Omega} \frac{|u|^2}{2} + \int_{\Omega \times \mathbb{S}^{N-1}} \psi \log \psi - \psi + 1 \right] = \\ -\nu \int_{\Omega} |\nabla u|^2 + 4 \int_{\Omega \times \mathbb{S}^{N-1}} |\nabla_R \sqrt{\psi}|^2 \\ + b \int_{\Omega} \nabla_k u_l : \int_{\mathbb{S}^{N-1}} R_k R_l R_i R_j \psi dR : \nabla_i u_j$$

To make sure that the free energy is dissipated, we have to assume that $b > -\frac{N}{N-1}\nu$.

< ロ > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < 回 > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □ > < □

Higher order derivatives

We use the notations

$$|u|_{s}^{2} = \sum_{|\alpha| \leq s} \int_{\Omega} |\partial^{\alpha} u|^{2} dx$$

$$|\psi|_{s}^{2} = \sum_{|\alpha| \leq s} \int_{\Omega} \int_{B} |\partial^{\alpha}\psi|^{2} \frac{dR}{\psi_{\infty}} dx$$
$$|\psi|_{s,1}^{2} = \sum_{|\alpha| \leq s} \int_{\Omega} \int_{B} \psi_{\infty} |\partial^{\alpha}\nabla_{R} \frac{\psi}{\psi_{\infty}}|^{2} dR dx$$

◆□▶ ◆□▶ ◆臣▶ ◆臣▶ 三臣 - のへぐ

From the first equation of FENE system, we deduce that

$$\partial_t |u|_s^2 + \nu |u|_{s+1}^2 \le C |u|_s^3 + \frac{C}{\nu} |\tau|_s^2.$$

From the second equation, we get

$$\partial_t \int_B \frac{\psi^2}{\psi_\infty} dR + u \cdot \nabla \int_B \frac{\psi^2}{\psi_\infty} dR + \int_B \psi_\infty \left| \nabla_R \frac{\psi}{\psi_\infty} \right|^2 \\ \leq |Du| \left(\int_B \frac{\psi^2}{\psi_\infty} \right)^{1/2} \left(\int_B \psi_\infty \left| \nabla_R \frac{\psi}{\psi_\infty} \right|^2 \right)^{1/2} \\ \leq C |Du|^2 \left(\int_B \frac{\psi^2}{\psi_\infty} \right) + \frac{1}{2} \left(\int_B \psi_\infty \left| \nabla_R \frac{\psi}{\psi_\infty} \right|^2 \right)$$

We define the flow Φ by

$$\begin{cases} \partial_t \Phi(t,x) = u(t, \Phi(t,x)) \\ \Phi(0,x) = x \end{cases}$$

Integrating along the flow, we get

$$\sup_{x} \int_{B} \frac{\psi^{2}(t)}{\psi_{\infty}} dR + \sup_{x} \int_{0}^{t} \int_{B} \psi_{\infty} \left| \nabla_{R} \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^{2} (s, \Phi(s, x)) ds$$
$$\leq \sup_{x} \int_{B} \frac{\psi_{0}^{2}}{\psi_{\infty}} e^{C} \int_{0}^{t} |Du|_{L^{\infty}}^{2}$$

◆□▶ ◆□▶ ◆臣▶ ◆臣▶ 三臣 - のへぐ

$$\partial_{t} \int_{B} \frac{(\partial^{s}\psi)^{2}}{\psi_{\infty}} + u \cdot \nabla \int_{B} \frac{(\partial^{s}\psi)^{2}}{\psi_{\infty}} + \int_{B} \psi_{\infty} \left| \nabla_{R} \frac{\partial^{s}\psi}{\psi_{\infty}} \right|^{2} = \\ = -\sum_{|\alpha|+|\beta| \le s} \int_{B} div_{R} (\partial^{\alpha} DuR \partial^{\beta}\psi) \frac{\partial^{\alpha+\beta}\psi}{\psi_{\infty}}$$

Integrating in the x variable, we get

$$\partial_t |\psi|_s^2 + \frac{1}{2} |\psi|_{s,1}^2 \le C \left(|Du|_{L^{\infty}}^2 |\psi|_s^2 + |u|_{s+1}^2 \sup_x \int \frac{\psi^2}{\psi_{\infty}} dR \right)$$

◆□ ▶ ◆□ ▶ ◆三 ▶ ◆三 ▶ ● ○ ○ ○ ○

Global existence of weak solutions for co-FENE

Theorem

(with P.-L. Lions) Take $u_0 \in L^2(\Omega)$ and ψ_0 such that $\int \psi_0 dR = 1$ a.e in x and $\int_B \frac{\psi_0^2}{\psi_\infty} dR \in L_x^\infty$. Then, there exists a global weak solution (u, ψ) of co-FENE with

$$u\in L^\infty(0,\,T;\,L^2)\cap L^2_{loc}(0,\,T;\,H^1)$$
 and $\psi\in L^\infty(0,\,T;\,L^\infty(L^2(rac{dR}{\psi_\infty}))).$

Proof: Stability of weak solutions:

Take (u^n, ψ^n) a sequence of weak solutions with initial data (u^n_0, ψ^n_0) and such that (u^n_0, ψ^n_0) converges strongly to (u_0, ψ_0) in $L^2(dx) \times L^2(\frac{dR}{\psi_{\infty}}dx)$.

We extract a subsequence such that u^n converges weakly to uin $L^p((0, T); L^2(\Omega)) \cap L^2((0, T); H^1(\Omega))$ and ψ^n converges weakly to ψ in $L^p((0, T) \times \Omega; L^2(\frac{dR}{\psi_{\infty}}))$ for each $p < \infty$.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

We would like to prove that (u, ψ) is still a solution of co-FENE.

Take
$$N = 2$$
:
 $(\psi^n - \psi)^2 \rightarrow \eta, \qquad |\nabla(u^n - u)|^2 \rightarrow \mu, \qquad \psi^n \nabla u^n \rightarrow \psi \nabla u + \beta$
 $|\nabla_R(\psi^n - \psi)|^2 \rightarrow \kappa, \qquad |\tau^n - \tau|^2 \rightarrow \alpha$

We can prove that

$$\begin{aligned}
\nu \mu &= \int \beta_{ij} R_i \nabla_j \phi dR \leq C \sqrt{\mu} \sqrt{\alpha}, \qquad |\beta_{ij}| \leq \sqrt{\mu} \sqrt{\eta} \\
\mu &\leq C \alpha \leq C \int \left(\psi_{\infty} \kappa + \frac{\eta}{\psi_{\infty}} \right) dR.
\end{aligned}$$

◆□ ▶ < 圖 ▶ < 圖 ▶ < 圖 ▶ < 圖 • 의 Q @</p>

And

$$\begin{aligned} \partial_t \int_B \frac{\eta}{\psi_{\infty}} + u \cdot \nabla \int_B \frac{\eta}{\psi_{\infty}} \\ &\leq C \sqrt{\mu} \int_B \sqrt{\eta} \left| \nabla \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right| - \int_B \psi_{\infty} \kappa \\ &\leq C \sqrt{\mu} \left(\int_B \frac{\eta}{\psi_{\infty}} \int_B \psi_{\infty} \left| \nabla \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^2 \right)^{1/2} - \int_B \psi_{\infty} \kappa \\ &\leq C \left(1 + \int_B \psi_{\infty} \left| \nabla \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^2 \right) \int_B \frac{\eta}{\psi_{\infty}} \end{aligned}$$

◆□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶

Local existence for FENE We take, $s > \frac{N}{2} + 1$. Theorem Take $u_0 \in H^s(\mathbb{R}^N)$ and $\psi_0 \in H^s(\mathbb{R}^N; L^2(\frac{dR}{d}))$ with $\int \psi_0 dR = 1$ a.e in x. Then, there exists a time T^{*} and a unique solution (u, ψ) of FENE system in $C([0, T^*); H^s) \times C([0, T^*); H^s(\mathbb{R}^N; L^2(\frac{dR}{d_1})))$. Moreover, $u \in L^{2}_{loc}([0, T^{*}); H^{s+1})$ and $\psi \in L^{2}_{loc}([0, T^{*}); H^{s}(\mathbb{R}^{N}; \mathcal{H}^{1}))$ where we denote $\mathcal{H} = L^2(\frac{dR}{dt})$ and

$$\mathcal{H}^{1} = \left\{ \psi \mid \int \psi_{\infty} \left| \nabla_{\mathsf{R}} \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^{2} + \frac{\psi^{2}}{\psi_{\infty}} \ d\mathsf{R} < \infty \right\}.$$

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Proof We have

$$\partial_t |u|_s^2 + \nu |u|_{s+1}^2 \le C |u|_s^3 + \frac{C}{\nu} |\tau|_s^2.$$
$$\partial_t |\psi|_s^2 + \frac{1}{2} |\psi|_{s,1}^2 \le C \left(|Du|_{L^{\infty}}^2 |\psi|_s^2 + |u|_{s+1}^2 \sup_x \int \frac{\psi^2}{\psi_{\infty}} dR \right)$$

 \sim

We have

$$|\tau|_s^2 \le \epsilon |\psi|_{s,1}^2 + C_\epsilon |\psi|_s^2$$

for each $\epsilon >$ 0, since

$$\left(\int_{B} \frac{|\psi|}{1-|R|} dR\right)^{2} \leq \epsilon \int_{B} \psi_{\infty} \left| \nabla_{R} \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^{2} dR + C_{\epsilon} \int_{B} \frac{|\psi|^{2}}{\psi_{\infty}} dR$$

We choose T such that

$$\int_0^T |u|_s^2 + |Du|_{L^{\infty}}^2 + |u|_s \le A$$

for some fixed constant A. Hence,

$$|\psi(t)|_{s}^{2} + \frac{1}{2}\int_{0}^{t}|\psi|_{s,1}^{2} \leq |\psi_{0}|_{s}^{2}e^{CA} + Ce^{2CA}\int_{0}^{t}|u|_{s+1}^{2}.$$

Moreover,

$$|u(t)|_{s}^{2} +
u \int_{0}^{t} |u|_{s+1}^{2} \leq (|u_{0}|_{s}^{2} + \int_{0}^{t} |\tau|_{s}^{2}) e^{C \int_{0}^{t} |u|_{s}}$$

◆□ > ◆□ > ◆臣 > ◆臣 > ○臣 ○ のへで

Hence,

$$\int_0^t |\tau|_s^2 \le \epsilon \int_0^t |\psi|_{s,1}^2 + C_\epsilon \int_0^t |\psi|_s^2 \le (\epsilon + C_\epsilon T) e^{2CA} (C + \int_0^t |u|_{s+1}^2)$$

and if ϵ and T are chosen small enough, we get

$$|u(t)|_{s}^{2} + rac{
u}{2} \int_{0}^{t} |u|_{s+1}^{2} \leq (|u_{0}|_{s}^{2} + C)e^{CA}.$$

◆□ ▶ ◆□ ▶ ◆三 ▶ ◆三 ▶ ● ○ ○ ○ ○

Remark : The linearized problem and boundary condition

$$L\psi=-{\it div}(\psi_{\infty}
ablarac{\psi}{\psi_{\infty}})$$

on the space $\mathcal{H} = L^2(rac{dR}{\psi_\infty})$ with domain

$$D(L) = \left\{ \psi \in \mathcal{H}^2, \quad \psi_\infty
abla rac{\psi}{\psi_\infty} |_{\partial B} = 0
ight\}$$

where \mathcal{H}^1 and \mathcal{H}^2 are given by

$$\mathcal{H}^{1} = \left\{ \psi \mid \int \psi_{\infty} \left| \nabla \frac{\psi}{\psi_{\infty}} \right|^{2} + \frac{\psi^{2}}{\psi_{\infty}} dR < \infty \right\}$$
$$\mathcal{H}^{2} = \left\{ \psi \in \mathcal{H}^{1} \mid \int \left(div(\psi_{\infty} \nabla \frac{\psi}{\psi_{\infty}}) \right)^{2} \frac{dR}{\psi_{\infty}} < \infty \right\}$$

◆□▶ ◆□▶ ◆三▶ ◆三▶ ◆□▶ ◆□

If $k \geq 1$ then

$$\overline{C_0^{\infty}}^{\mathcal{H}^1} = \mathcal{H}^1 \tag{1}$$

and $D(L) = \mathcal{H}^2$.

However, (1) does not hold when k < 1 since ψ_{∞} is not in $\overline{C_0^{\infty}}^{\mathcal{H}^1}$ and, $D(L) \subset \mathcal{H}^2$ is strict. Indeed, for k < 1, $\psi_{\infty}^{1/k} \in \mathcal{H}^2$ but does not satisfy the boundary condition and hence it is not in D(L).

This is related to Jourdain and Lelievre who proved that when $k \ge 1$, then the stochastic process R_t does not reach the boundary and when k < 1, it reaches the boundary a.s.

Global existence in 2D for co-Hooke

Theorem

(with Zhang and Zhang) Let 1 < s < 2. Let $u_0 \in$ $H^1(\mathbb{R}^2) \cap C^s(\mathbb{R}^2), \psi_0 \in H^1(\mathbb{R}^2; L^2(\mathbb{R}^2)) \cap C^{s-1}(\mathbb{R}^2; L^2(\mathbb{R}^2)),$ and $|R|f_0 \in L^{\infty}(\mathbb{R}^2; L^2(\mathbb{R}^2))$. Then co-Hooke has a unique global solution (u, ψ) such that for any T > 0, there holds

$$u \in C\left([0,+\infty); H^1(\mathbb{R}^2) \cap C^s(\mathbb{R}^2)\right) \cap L^2((0,T); H^2(\mathbb{R}^2)),$$

$$\psi \in C\left([0,+\infty); H^1(\mathbb{R}^2; L^2(\mathbb{R}^2)) \cap C^{s-1}(\mathbb{R}^2; L^2(\mathbb{R}^2))\right),$$

Furthermore, there holds

 $\|u(t)\|_{C^s} + \|f(t)\|_{s-1} \leq C_0(C + \|u_0\|_{C^s} + \|f_0\|_{s-1})^{\exp(C_0t)}, \quad \forall t < \infty$

where C_0 only depends on $\|u_0\|_{L^2}^2 + \|f_0\|_{L^2}^2 + \|(1+|R|)f_0\|_{L^{\infty}(\mathbb{R}^2;L^2(\mathbb{R}^2))}^2$

- We have a similar type of result for the Doi model (with P. Constantin)
- The proof is based on losing regularity type of estimates (Bahouri and Chemin)
- In Chemin and Masmoudi, it was proved that if τ ∈ L[∞], then we get global existence in 2D for the Oldroyd B model.